

1. クラブテーマ(目標) : 「クラブビジョンの達成に向かって！」

2022 年に当クラブはクラブビジョンを構築しました。

CLUB VISION

メンバーである事に誇りを持ち 学び楽しみ そして奉仕を率先し
活力のある 明るく楽しいクラブを目指します

今年度は、このクラブビジョンの達成の為に、クラブが一つになり向かっていく事をクラブテーマ(目標)とし、そしてこの達成の為に、目的を持ち以下の活動を計画し実行したいと思います。

2. クラブの活動計画 : クラブ定款 第 3 条「クラブの目的」に沿った活動

目的を持った活動とする為に、今年度はクラブ定款第 3 条に沿った活動を計画し実行したいと思います。

クラブ定款 第 3 条に定められた「クラブの目的」は次の 5 項目となります。

- (a) 「ロータリーの目的」の達成を目指すこと
- (b) 五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施すること
- (c) 会員増強を通じてロータリーの発展に寄与すること
- (d) ロータリー財団を支援すること
- (e) クラブレベルを超えたリーダーを育成すること

まず、一つ目の

(a) 「ロータリーの目的」の達成を目指すことについては、既にご認識をされていると思いますが、改めて申し上げます、「ロータリーの目的」とは クラブ定款 第 5 条に、次のように条項が記載されています。

「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」

そして、これについては、当クラブで活動中のロータリー研修会 第 2 回若楠会にて、その時に講師をされた、岩崎先生が講和の中でも取り上げられ、次の通りお話をされました。

「ロータリーでは、各自の職業を通じての奉仕の理想を目的としています。一言で言えば、事業を営むに際しては奉仕の心をもってやりなさいと言っているのです。

ロータリーはロータリアン一人一人が営む自己の職業上の倫理向上に努め、それを基礎として、職業奉仕をすることを目的とする団体であって、ここが唯一他の団体にはない特有の理念であって、ロータリーの魅力となっており、約 120 年存続し社会に評価されて来た大きな理由ではないかと思えます。」

このお話に関しては、私個人としても同感致しますし、本年度の活動計画と言うよりも、ロータリアンとして、これを認識した言行を常にしなければならないと思えます。

次に、2つ目の

(b) 五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施することについては、本年度はクラブの奉仕事業として、次の 2 つについて取り組むたいと考えています。

① ロータリー財団地区補助金を利用した青少年奉仕事業の開催

本年度は、地区補助金を利用した青少年奉仕事業の開催を予定しています。計画概要は次の通りです。

福岡は「アジアの玄関口」を担い盛んにグローバル化が進んでいます。そして、福岡に暮らす子供達は、異国との文化や取り巻く環境の違いを知る国際感覚を高める機会を求めると考えます。本年度、当クラブは異文化交流青少年奉仕事業として「異文化チャレンジ！プロジェクト」と銘打ち、この計画を実施したいと考えています。子どもたちとその家族及びロータリアンが一緒になり、午前中に語学(主にスペイン語)の勉強、その後昼食を共に食し(中南米料理)、午後からはラテンダンス教室を計画します。又、これらの講師は、ほとんど中南米人にて実施します。そして、このプロジェクトの異文化との交流と学びは、ロータリー財団の使命の 1 つである世界理解、親善、平和に通じる事だと考えます。

このプロジェクトは、4 年ぶりに当クラブが主催する青少年奉仕事業となります。又、このプロジェクトはクラブ会員全員の協力が必要となりますので、是非皆様のご協力を宜しくお願い致します。

② ボーイスカウト福岡第 14 団との関わり合いの見直し

ボーイスカウト福岡第 14 団は、当クラブの創立事業として発足させ、長きに渡り支えてきた歴史は、当クラブの青少年奉仕事業の柱です。しかしながら近年の関わり合いは薄く、主としては毎年支援金を手渡し、30 キロハイクでは数名のみの参加、上進式に於いては、育成会の会長・副会長のみの出席となっております。

本年度以降はこの関係性を見直す為に、クラブ細則の変更も致しました。具体的には、クラブ細則・第 8 条委員会の構成と任務 第 2 節(d)(3)の条項に於いて「公益財団法

人ボーイスカウト福岡県連盟 福岡第 14 団に対して、その活動を積極的に支援すると共に、クラブの会員に対し、理解と関わり合いを深める為に、上進式への参加の呼びかけと、育成会賛助会員への登録のお願い等を推進するものとする。」と記載しておりますので、今後、BS 育成会の森会長、井樋副会長、並びに奉仕プロジェクト委員会と協議を重ねながら、具体的にこれを進めたいと思います。

次に、3つ目の

(c) 会員増強を通じてロータリーの発展に寄与することについてですが

本年度は、クラブとしては初めて「オープンロータリー(例会)」を実施したいと考えています。

この理由としては、近年、地区からもこの開催を強く推奨されている事と、これは福岡市内の他クラブの実例ですが、「オープンロータリー(例会)」を開催し、その場に 15 名程の入会をさせたいと思う方々を集め、積極的に入会を勧めたところ、その中から一度に 5 名の新会員が加入したとの事です。これは、会員増強の面ではとても良い試みだと考えますので、当クラブに於いても、この新会員の加入促進を目的とした「オープン例会」を開催する予定でございます。尚、この件の活動主体は、「会員基盤向上委員会」にてお願いしたいと思っておりますので、委員長を始め、委員各位には率先したご協力をお願いしたいと思います。

次に4つ目の

(d) ロータリー財団を支援することについてですが

当クラブのロータリー財団への支援金額は、一昨年度の実績としてクラブ平均で年次基金 104 ドル/人でございます。そして、2700 地区から各クラブに対し、支援を要請されている金額は、年次基金 150 ドル/人+ポリオ 30 ドル/人でございます。

そして、ロータリー財団を支援することは、定款に定められているクラブの目的の 1 つとなっています。

又、クラブからロータリー財団へ支援した金額は、現在運用されているシェアシステムにより、3 年後にクラブの平均支援金額の 50 倍を上限として、クラブの奉仕事業に利用できる仕組みにもなっております。

この為、現在当クラブに於きましては、年会費請求の際に財団寄付金として、5,000 円をプラスして、皆様に支援を頂いておりますが、この金額を 10,000 円に増額する事を検討しなければと考えております。但しこれについては会員の皆様の総意が必要でございますので、「ロータリー財団・米山奨学委員会」の委員長等と協議を重ねながら計画し、できれば年次総会にて皆様の審議をお願いしたいと考えております。

尚、ロータリー財団については、ご理解いただける方と、そうでない方もいらっしゃいますが、クラブ定款の「クラブの目的」となっている事を認識して頂き、ご協力をお願いしたいと思います。

最後に、

(e)クラブレベルを超えたリーダーを育成することについてですが

これについては、当クラブは、本年度より「クラブ研修委員会」が発足し、その活動を初める事となります。又、この委員会は ローターリー研修会「若楠会」部門 と 新会員オリエンテーション部門の2つの役割を担う委員会としています。

ロータリー研修会「若楠会」部門は、クラブとして素晴らしいロータリアンを育てることを目的とした「若楠会」の準備、計画等の運営全般を行い実施する部門としており、新会員オリエンテーション部門は、入会1年未満の会員に対し、オリエンテーションの準備、計画等の運営全般を行い実施する部門としています。

特に新会員オリエンテーションに関しては、RIも推奨している通り、絆を深め、活発な会員になってもらう為の大切な機会と考えます。又、調査によると、新会員オリエンテーションを開催しているクラブは、開催していないクラブと比較し、会員維持率が高い事もわかっています。今後、より充実した新会員オリエンテーションを計画・実施し、新会員がロータリアンとしての第一歩をスムーズに踏み出してもらえるようクラブ研修委員会が率先した活動を行って頂きたいと思えます。

以上の5項目が、本年度のクラブテーマ(目標)を達成する為の、具体的な活動計画といたします。

当クラブに於きましては、2020年1月からの新型コロナの感染拡大以降、例会の開催も儘ならず、ましてやクラブ独自の奉仕事業は開催が出来ない状況が続きました。そして、この時期より当クラブに入会された方は、現在17名在籍されていますが、それらの会員は奉仕事業の経験も無いままでございます。

本年度は、この状況を改善し、コロナ前の状況に戻し活動を進める事が会長職を担う、私の使命であると思えますので、一年を掛けて率先した行動をして行きたいと思えます。

2023-24 年度

元気なクラブになる為の各委員会へのお願い事項

2700 地区の年度方針等を踏まえ、各委員会にお願いをする事項の要点のみを下記に記載致しております。各委員長主導のもと率先した委員会活動、そしてクラブビジョンの達成を目指し、クラブが更に元気になる為の活動を宜しくお願い致します。

福岡北ロータークラブ
2023-24 年度会長 山田 宏次郎

1. クラブ管理運営 A 委員会(例会プログラム・ロータリーソング部門)

ロータリー五大奉仕の第一部門はクラブ奉仕となります。そして当該委員会が担当する例会プログラムは、クラブ活力の原泉であり、クラブ奉仕の重要な要因だと思います。又、次年度ガバナーの地区方針の要点の中にも、充実した例会を取り戻す事を掲げています。

例会プログラムについて、次年度はクラブ協議会及び討論会等を除き 17 回の卓話を予定しています。クラブ協議会及び討論会については、その計画と準備をクラブ役員にて行いますので、それ以外の **17 回の卓話**については、その計画と準備を当該委員会にて実施して下さい。又、卓話者については、外部の方、クラブ内の方(主にイニシエーションスピーチ)等バランスのとれた計画をお願い致します。尚、例会を含む会合の設営・監督の責務は SAA となりますので、例会プログラムの情報は、早めに計画を立て、常に SAA と共有する事をお願い致します。

2. クラブ管理運営 B 委員会(親睦活動・出席部門)

ロータリーに於ける親睦は、奉仕を行う上で重要な役割を担っています。当該委員会は、**例会時の受付・出席確認、例会の出迎えとビジター・ゲスト等の案内、年 4 回の夜間例会の企画・案内・実施、誕生お祝い、テーブルへの会員の配置、テーブル会の開催推奨**等と多岐に渡り活動をして頂いていますが、本年度はこれらにプラスして、**新会員が一日も早くクラブに馴染み、活発な会員になる為の親睦活動も計画**して頂きたいと思います。

ロータリーは親睦が失われれば崩壊するともいわれています。又、親睦はロータリー運動そのものではなく、ロータリーという植物が根をはり、成長し、花を咲かせ、「奉仕」という実を収穫する為に、どうしても必要な、水や、日光や、最良の土壌が「親睦」と言われております。どうぞ率先した活動をお願い致します。

3. 会員基盤向上委員会(会員増強部門・ロータリー情報・会員選考・職業分類部門)

会員増強に関しては、定款第 3 条クラブの目的に、「会員増強を通じてロータリーの発展に寄与する」との条項があり、RI や地区も会員増強に対して数値目標を設定しています。又、クラブの会員数の増加の為には、新会員の勧誘と現会員の退会防止(会員の維持)と言う 2 つの面がありますので、この両面の取組が必要となります。

会員増強は、クラブ会長が強い意志を持ち、その意図を会員全てに伝え、クラブ一丸になり取り組む課題ですので、当該委員会にはそのサポートをお願いします。

次年度、当クラブは会員増強の為に新しい取り組みとして、**オープンロータリー(例会)を開催する**予定です。これは福岡市内の他クラブの情報ですが、これを開催し、その場に約 15 名の入会させたいと思う方を集め、その後積極的に入会を勧めたところ、その中から一度に 5 名の新会員が加入した成果も出ています。当クラブに於いても、これについて準備と計画を重ね、実行したいと思います。

ロータリー情報部門は、「会員にロータリーの歴史、目的、活動、国際ロータリー管理運営の動向に関する情報、国際ロータリー並びに 2700 地区が発信する情報等を会員に提供し、会員がロータリーに対する理解と魅力を深めるよう積極的に努めなければならない」となっております。本年度は当クラブ事務局で受ける 2700 地区からの情報を、全て当該委員会の委員長及び部門長と共有したいと考えております。又、国際ロータリーの情報は「My Rotary」から情報の入手が可能となります。そして現在この「My Rotary」は、ロータリーを知り、学ぶ事の出来る大変貴重なツールとなっていますので、「My Rotary」への会員登録促進の役割も当該委員会にて担って頂きたいと思っております。

4. 広報公共イメージ委員会(クラブ会報・雑誌・広報公共イメージ・DX 推進部門)

次年度より、週報の紙面に「QR コード」を 2 つ掲載します。一つは一年間の例会の詳細情報です。お手持ちの携帯電話(スマートフォン)にて、この「QR コード」を読み取るとスマートフォン上で確認が出来る仕組みとなっています。2 つ目の「QR コード」は、当クラブのホームページを見る事が出来るようになっています。当クラブのホームページから、過去のクラブの情報の他、様々なコンテンツと情報がありますので、この利用度を向上させたいと思っております。

又、地区発行の月信は、次年度より DX (デジタル・トランスフォーメーション) 化されることになりましたので今後、紙媒体の月信は発行されなくなります。地区からも、この月信の DX 化については、スムーズに移行出来るようにクラブに協力を要請されていますので、当該委員会にて対処をお願い致します。具体的には、クラブ会員に対し ・紙媒体の月信は発行されないことを告知 ・必要に応じて各クラブで希望者に印刷する ・月信の購読率が下がらないように、各クラブ週報などで新刊を広報する 事となっています。

5. 奉仕プロジェクト委員会(職業奉仕部門・社会奉仕部門・青少年奉仕・BS 支援部門・RYLA 青少年育成部門・国際奉仕部門)

次年度はクラブの奉仕事業として、次の 2 つについて取り組むたいと考えています。

① ロータリー財団地区補助金を利用した青少年奉仕事業の開催

次年度は、地区補助金を利用した青少年奉仕事業の開催を予定しています。計画概要は次の通りです。

福岡は「アジアの玄関口」を担い盛んにグローバル化が進んでいます。そして、福岡に暮らす子供達は、異国との文化や取り巻く環境の違いを知る国際感覚を高める機会を求めていると考えます。本年度、当クラブは青少年奉仕事業として、異文化チャレンジ！プロジェクト (子供たちと一緒に異文化を体験しよう)と銘打ち、この計画を実施したいと考えています。子どもたちとその家族及びロータリアンが一緒になり、午前中に語学(主にスペイン語)の勉強、その後昼食を共に食し(中南米料理)、午後からはラテンダンス教室を計画します。又、これらの講師は、ほとんど中南米人にて実施します。そして、このプロジェクトの異文化との交流と学びは、ロータリー財団の使命の 1 つである世界理解、親善、平和に通じる事だと考えます。

このプロジェクトは、4 年ぶりに当クラブが主催する青少年奉仕事業となります。又、このプロジェクトはクラブ会員全員の協力が必要となりますので、是非皆様のご協力を宜しくお願い致します。

②ボーイスカウト福岡第 14 団との関わり合いの見直し

ボーイスカウト福岡第 14 団は、当クラブの創立事業として発足させ、長きに渡り支えてきた歴史は、当クラブの青少年奉仕事業の柱です。しかしながら近年の関わり合いは薄く、主としては毎年支援金を手渡し、30 キロハイクでは数名のみの参加、上進式に於いては、育成会の会長・副会長のみの出席となっております。

本年度以降はこの関係性を見直す為に、クラブ細則の変更も致しました。具体的には、クラブ細則・第 8 条委員会の構成と任務 第 2 節(d)(3)の条項に於いて「公益財団法人ボーイスカウト福岡県連盟 福岡第 14 団に対して、その活動を積極的に支援すると共に、クラブの会員に対し、理解と関わり合いを深める為に、上進式への参加の呼びかけと、育成会賛助会員への登録のお願い等を推進するものとする。」と記載しておりますので、今後、BS 育成会の森会長、井樋副会長、並びに奉仕プロジェクト委員会と協議を重ねながら、具体的にこれを進めたいと思います。

6.Rotary 財団・米山奨学委員(Rotary 財団・財団補助金プロジェクト部門・米山記念奨学会部門)

当クラブのロータリー財団への支援金額は、一昨年度の実績としてクラブ平均で年次基金 104 ドル/人です。そして、2700 地区から各クラブに対し、支援を要請されている金額は、年次基金 150 ドル/人+ポリオ 30 ドル/人です。そして、ロータリー財団を支援することは、定款に定められているクラブの目的の 1 つとなっています。又、クラブからロータリー財団へ支援した金額は、現在運用されているシェアシステムにより、3 年後にクラブの平均支援金額の 50 倍を上限として、クラブの奉仕事業に利用できる仕組みにもなっております。この為、**現在当クラブに於きましては、年会費請求の際に財団寄付金として、5,000 円をプラスして、皆様に支援を頂いておりますが、この金額を 10,000 円に増額する事を検討しなければと考えております。**但し、これについては会員の皆様の総意が必要でございますので、今後協議を重ねながら計画し、できれば年次総会にて皆様の審議をお願いしたいと考えております。

尚、ロータリー財団への寄付については、ご理解いただける方と、そうでない方もいらっしゃいますが、クラブ定款の「クラブの目的」となっている事を承知して頂き、ご協力をして頂きたいと思っております。



2024年3月20日(祝)

異文化チャレンジ スケジュール

- 10:00~10:30 : 受付~開会、内容説明
- 10:30~12:00 : 語学を学ぼう! (主にスペイン語) ※年齢別の2クラス
- 12:00~13:00 : 中南米料理を食べよう!
- 13:00~14:30 : ラテンダンスを踊ろう! ※年齢別の2クラス
- 14:30~15:00 : ラテンダンスを見てみよう! (プロによるラテンダンスショー)
- 15:00~15:30 : アンケート記入~閉会

主催:福岡北ロータリークラブ



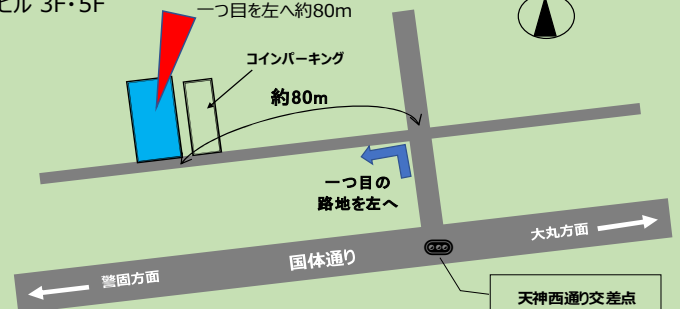
福岡は「アジアの玄関口」を担い、盛んにグローバル化が進んでいます。そして、福岡に暮らす子供達は、異国の文化や、取り巻く環境の違いを、見て・聞いて・話せる 国際感覚を高める機会を求めていると考えます。

今回のこのプロジェクトは、子どもたちとその家族及びロータリアンが一緒になり、中南米文化を体験する計画です。午前中に語学(主にスペイン語)の勉強、その後昼食を共に食し(中南米料理)、午後からはラテンダンス教室を計画します。又、これらの講師は、ほとんど中南米人にて実施します。今回のプロジェクトである異文化の交流と学びは、ロータリー財団の使命の1つである世界理解、親善、平和に通じる事だと考えます。

会場及び協力団体 特定非営利活動法人 ティエンポ・イベロアメリカノ

福岡市中央区大名1-15-11
Daimyo11511ビル 3F・5F

※国体通りから西通りに入り、
一つ目を左へ約80m



※参加費無料
運動が出来る服装で!
汗拭きタオルも必要です

◆申込書送付先: 福岡北ロータリークラブ事務局
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通1-1-2 ホテルニューオータニ博多5F
(事務局員) 佐々木 淑美
TEL092-715-6660 FAX092-715-6692
E-mail fncr@lime.ocn.ne.jp